

有名学習塾による入試直前出題予想!! 英語・理科

企画／朝日新聞社メディア事業本部 制作／広島朝日広告社

2025 広島県公立高校 入試問題予想特集

前ページに国語・社会・数学を掲載

有名学習塾による入試直前出題予想!! 英語・理科

記述問題では問われていることを確実に読みとろう

令和5年度から入試制度が改定され、令和7年度の入試で3年目となる。出題形式に関しては、物理・化学・生物・地学から大問が1題ずつ。これは今年度も変わらないだろう。令和6年度では、物理は「電磁誘導と発電」、化学は「酸とアルカリ」、生物は「植物の観察・分

理 科

白石学習院
赤波根 貴志先生

英語

若竹塾
辻下 勇一朗先生

— 難しい英作文も諦めず — 書けば、部分点を狙える

2024年度の平均点は50点満点中の24・1点であった。大問は例年通り、リスニング・対話文・長文読解・自由英作文の4題構成である。約10分のリスニングを含めて50分であるため、スピードが要求されるテストもある。ここからは各大問についての話をしていく。

類」、地学は「太陽系の天体」だった。過去の出題単元をまとめて並べいくと、2年連続で同じ単元が出題されていることはほとんどない。あくまで傾向だが、入試直前に学習時間の効率化を図る際の指標になるかもしれない。また、気をつけておきたいこととして、1年生で学習する「光」が出題された翌年で、同じく1年生で学習する「力」が出題されたことがあるので、単元を学年でまとめて考えることは控えよう。

受験生は現在、過去問演習で問題の傾向・形式に慣れてきている頃だと思われるが、その中で、「○○」の語を用いて簡潔に書きなさい。という設問など、表現力を試される記述問題に接しているはずだ。解答の形式は、「語句」「記号」「作図」「記

された素材にはキヤツシュレスや用品の寄付など日常生活に関わりの深いテーマが多いため、普段のニュースも確認しておこう。

大問①は、放送による問題が5問。問題Bは、前年同様聞き取った対話の一部を考えさせる英作文、問題Cは、英文の内容を理解し、質問に対する自分の考え方を理由を書かせる英作文であった。日常の何気ないトピックに対して、自分の考え方を一致させるように意識したい。

前年とほぼ横ばいである。大問①は、放送による問題が5問。問題Bは、前年同様聞き取った対話の一部を考えさせる英作文、問題Cは、英文の内容を理解し、質問に対する自分の考え方を理由を書かせる英作文であった。日常の何気ないトピックに対して、自分の考え方を一致させるように意識したい。

大問②は、対話文とグラフなどの資料を合わせて読み取る問題。読解力に加えて正確な情報処理能力が求められる一方で、資料が対話文を読み解くヒントになる面もある。過去問などを利用しながら、英文と資料を合わせて読み取る練習をしておくとよい。また、近年出題

問題Aは対話を聞いて質問に対する回答として最も適切な英文や図を選択する問題が3問あり、比較的容易な問題である。問題Bは対話を聞いて、その対話を続けるための質問を英文で書く問題であり、正答率は22・7%、問題Cは質問に対するあなたの考え方とその理由を英文で書く問題である。問題Bは対話を聞く問題であり、正答率は9・2%である。問題Bと問題Cのよう英文を書く問題となると気を正答率が下がる。英文を書く練習をしっかりとおこなうことが大切である。

次に大問②は会話文を読み、その内容について問う総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約300語に対し、今年度は約400語になった。

まず、大問①のリスニングについて、問題Aは対話を聞いて質問に対する回答として最も適切な英文や図を選択する問題が3問あり、比較的容易な問題である。問題Bは対話を聞いて、その対話を続けるための質問を英文で書く問題であり、正答率は22・7%、問題Cは質問に対するあなたの考え方とその理由を英文で書く問題である。問題Bは対話を聞く問題であり、正答率は9・2%である。問題Bと問題Cのよう英文を書く問題となると気を正答率が下がる。英文を書く練習をしっかりとおこなうことが大切である。

次に大問②は会話文を読み、その内容について問う総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約300語に対し、今年度は約400語になった。

2021年度まではこの大問にも英作文があつたが、昨年度からなくなりたことで全体的に得点の取りやすさが変わっている。問題3の正答率が47・2%であることを除いて、その他7問がすべて55%以上の正答率となっている。

さらに大問③は長い文章を読み、その内容について総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約500語に対して、今年度は約560語になった。ただし、この大問では英語英答の問題が2問と文章の流れに合った適切な英文を書く問題が1問あり、やはりその正答率が10%～30%程度で非常に得点が取りにくくなっている。

また大問④は日常的な話題について、自分の考え方を理解し、まとめて練習問題を1題。

この問題の解答のイメージは止まる理由を、「摩擦力」の語を用いて簡潔に答えなさい。この問題の解答のイメージは止まる理由を、「摩擦力」の語を用いて簡潔に答えなさい。

この問題は、入試制度改正後の2年でともに10点程度を占めている。記述問題で差をつけられないようにするために何を問われているのかを確実に確認すること。また、解答の指示があればその指示に従うこと。

ここで、練習問題を1題。

入試まで3週間余りとなつた。勉強を始める前に少量のブドウ糖を摂取する、ガムを噛みながら取り組むなど、自分自身の潜在能力を信じ、それを少しでも高める工夫を能動的に取り入れることで、「まだ3週間もある」とポジティブな思考を維持しやすくなるはずだ。支援をしてくださっている方々への感謝の気持ちが、ここ一番の瞬発力につながることも忘れないように。

いよいよ入試まで3週間余りとなりました。令和7年度入試の一次選抜は2月26日(水)～2月28日(金)に実施されます。5教科の学力検査は2月26日(水)に全教科の試験があります。例年の出題形式や傾向などを踏まえた上で、有名学習塾入試担当の先生方に各教科の出題傾向と対策を聞きました。

英 語

白石学習院
松浦 侑佳先生

出題形式の大枠はここ3年ほど変化なく、放送問題・対話文読解・長文読解・英作文の4つの大問で構成され、「聞く」「読む」「書く」をバランスよく問う出題であった。小問数は22問。そのうち9問が適語補充や並び替えを含む英作文であった。前年度の平均点は24・1点と、

出題形式の大枠はここ3年ほど変化なく、放送問題・対話文読解・長文読解・英作文の4つの大問で構成され、「聞く」「読む」「書く」をバランスよく問う出題であった。小問数は22問。そのうち9問が適語補充や並び替えを含む英作文であった。前年度の平均点は24・1点と、

前年とほぼ横ばいである。大問①は、放送による問題が5問。問題Bは、前年同様聞き取った対話の一部を考えさせる英作文、問題Cは、英文の内容を理解し、質問に対する自分の考え方を理由を書かせる英作文である。特に質問文と答えの主語・動詞を一致させるように意識したい。

大問②は、対話文とグラフなどの資料を合わせて読み取る問題。読解力に加えて正確な情報処理能力が求められる一方で、資料が対話文を読み解くヒントになる面もある。過去問などを利用しながら、英文と資料を合わせて読み取る練習をしておくとよい。また、近年出題

問題Aは、対話を聞いて質問に対する回答として最も適切な英文や図を選択する問題が3問あり、比較的容易な問題である。問題Bは対話を聞いて、その対話を続けるための質問を英文で書く問題であり、正答率は22・7%、問題Cは質問に対するあなたの考え方とその理由を英文で書く問題である。問題Bは対話を聞く問題であり、正答率は9・2%である。問題Bと問題Cのよう英文を書く問題となると気を正答率が下がる。英文を書く練習をしっかりとおこなうことが大切である。

次に大問②は会話文を読み、その内容について問う総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約300語に対し、今年度は約400語になった。

まず、大問①のリスニングについて、問題Aは対話を聞いて質問に対する回答として最も適切な英文や図を選択する問題が3問あり、比較的容易な問題である。問題Bは対話を聞いて、その対話を続けるための質問を英文で書く問題であり、正答率は22・7%、問題Cは質問に対するあなたの考え方とその理由を英文で書く問題である。問題Bは対話を聞く問題であり、正答率は9・2%である。問題Bと問題Cのよう英文を書く問題となると気を正答率が下がる。英文を書く練習をしっかりとおこなうことが大切である。

次に大問②は会話文を読み、その内容について問う総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約300語に対し、今年度は約400語になった。

2021年度まではこの大問にも英作文があつたが、昨年度からなくなりたことで全体的に得点の取りやすさが変わっている。問題3の正答率が47・2%であることを除いて、その他7問がすべて55%以上の正答率となっている。

さらに大問③は長い文章を読み、その内容について総合的な問題である。例年から大きな変化はないが、昨年度の本文が約500語に対して、今年度は約560語になった。ただし、この大問では英語英答の問題が2問と文章の流れに合った適切な英文を書く問題が1問あり、やはりその正答率が10%～30%程度で非常に得点が取りにくくなっている。

また大問④は日常的な話題について、自分の考え方を理解し、まとめて練習問題を1題。

この問題は、入試制度改正後の2年でともに10点程度を占めている。記述問題で差をつけられないようにするために何を問われているのかを確実に確認すること。また、解答の指示があればその指示に従うこと。

ここで、練習問題を1題。

この問題の解答のイメージは止まる理由を、「摩擦力」の語を用いて簡潔に答えなさい。

この問題は、入試制度改正後の2年でともに10点程度を占めている。記述問題で差をつけられないようにするために何を問われているのかを確実に確認すること。また、解答の指示があればその指示に従うこと。

ここで、練習問題を1題。

この問題は、入試制度改正後の2年でともに10点程度を占めている。記述問題で差をつけられないようにするために何を問われているのかを確実に確認すること。また、解答の指示があればその指示に従うこと。

ここで、練習問題を1題。

この問題は、入試制度改正後の2年でともに10点程度を占めている。記述問題で差をつけられないようにするために何を問われているのかを確実に確認すること。また、解答の指示があればその指示に従うこと。

ここで、練習問題を1題。

広島県公立高校入試 一次選抜の日程
(全日制課程)

学力検査	2月26日(水)
自己表現 学校独自検査(実施校のみ)	2月27日(木)
予備日	2月28日(金)

受験生へ 入試直前アドバイス

生活リズムを
入試本番に合わせる!

入試まで3週間余りとなりました。そろそろ生活リズムを試験に合わせて早寝早起きにしましょう。試験前日になって「今日は早寝しよう」と思い立つ生徒を時々見かけますが、普段の生活リズムを急に変えられるものではありません。逆に体調を崩す原因になってしまいます。

▶ これからの学習方法!

(英語) 答え合わせを含めて30分程度の長文問題を毎日解きましょう。(数学) 1年生から3年生まですべて出題されますから特に苦手な単元を解くようにしましょう。(理科) 出題予想が比較的しやすい教科ですから単元を絞って準備しましょう。理科は直前まで伸びる教科です。(社会) 一問一答式の問題で知識を整理しておきましょう。(国語) 過去問を利用して古文漢文を学習しておきましょう。(自己表現) 事前にリハーサルはすると思いますが、当日の緊張は仕方ありません。しかし緊張していることで悪い評価になることはありません。面接では誠実に一生懸命応対することが大事です。

▶ 合格のための心のお守り。「自分を信じる!」

皆さんは普段の力さえ発揮できれば合格可能性が高いはずです。当日は自分を信じて落ち着いて取り組みましょう。合格を祈っています!

パワーゼミ西本塾 代表 西本 雅明